学校番号	２０２

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子どもの発達と保育　新訂版」（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもを取り巻く環境や社会に関心をもち、積極的に取り組みましょう。家庭総合で学んだ保育分野をさらに専門的発展的に学びます。

・子どもの発達の特性や過程、乳幼児の生活と保育、子育ての支援などに関する知識と技術を、講義の他、ワークショップや演習等などの実践的・体験的な学習を含めて学びます。

・子どもの育ちや子どもを取り巻く環境に積極的に関心を持ちましょう。子どもの育ちを学び子どもと関わることで自身も育つ経験をしましょう。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。	子どもの発達をふまえ、子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などの現状について課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達の特性や発達過程に対応した保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 実習の計画及び記録 レポート、 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 実習の計画及び記録 発表 定期考査の結果 自己評価･相互評価等	学習状況の観察 製作品 実習の計画及び記録 ワーク 発表 実技テストの結果 自己評価･相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 実習の計画及び記録 発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達の特性と発達過程	○子どもの発達の特性 ・発達と乳幼児期の特徴 ・発達と保育環境 ・発達観・児童観とは ○子どもの発達の過程 ・こどもの発育 ・子どもの精神発達 ・人間関係の発達	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:子どもの発達の特性や発達過程について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達の特性や発達過程を見つめ、望ましい保育活動について具体的に考え、表現している。 c:子どもの発達の特性や発達過程をふまえた保育技術を身に付けている。 d:子どもの発達の特性や発達過程について科学的な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 製作品 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価
2学期～3学期	子どもの生活と保育	○子どもの生活 ・生活と養護 ・子どもの遊び ・生活習慣の形成 ・健康管理と事故防止 ○子どもの保育 ・保育の意義と重要性 ・家庭保育と集団保育 ・保育の方法	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:子どもの生活と保育について関心をもち、主体的に子どもの養護を学ぼうとしている。 b:子どもの生活と保育に関する課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、表現している。 c:子どもの発達に応じた適切な養護と保育について選択でき技術を身に付けている。 d:子どもの発達に応じた適切な養護と保育について必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 製作品 発表 実技テストの結果 自己評価・相互評価
3学期	子どもの福祉と子育て支援	○子どもの福祉 ・子どもの福祉 ・子育て支援	○	○	○	○	a:子どもの福祉と子育て支援について関心をもち、主体的に学ぼうとしている。 b:子どもの福祉と子育て支援に関する課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、表現している。 c:子どもの福祉と子育て支援について考察や説明ができる。 d:子どもの福祉と子育て支援について基礎的・基本的な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 製作品 発表 自己評価

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価する。